

# 答案の正しい書き方



答案を書く時は…

- 大きく
- はっきり
- ていねいに

をこころがけよう！

## 【父母の方へ】

採点は答案をスキャナーで読み込みデジタル画像化して行うため、文字が薄いと正確な採点できません。そのため、**B・2Bのえんぴつを使って文字は濃くはっきりと書くこと、書き直す場合は消しゴムできれいに消してカスを払ってから書き直すよう、お子さまにご指導をお願いいたします。**



【良い例】

こくははっきりした答え



採点されます。

【悪い例】

うすい字

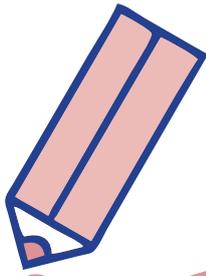


×になります。

消したあとが残っている



このような字も×になります。



## ◎採点について◎

### ■○×のつけ方

採点は、次のような○・×で表します。

- 答えが正解の場合……………（正答）
- 答えがまちがっている場合……………（誤答）
- 答えが記入されていない場合……………（無記入）



まちがっているものの×と、無記入の×を使い分けています。

### ■採点結果は解答と週報で見よう。

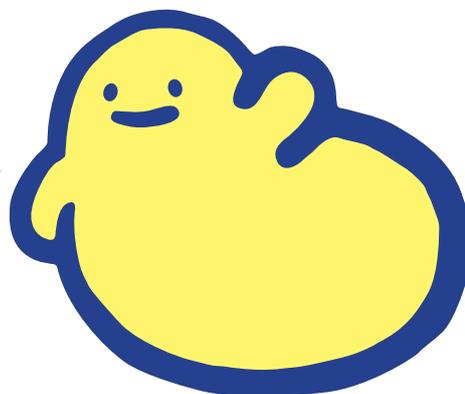
採点された答案は四谷大塚ドットコム (<https://www.yotsuyaotsuka.com/>) で確認できます。  
(別紙「受けたテストの答案閲覧方法」参照)

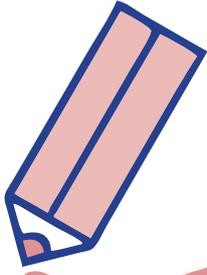
問題の答えは、テストが終わったあとに配られる解答や四谷大塚ドットコムで週報を見てください。

### ■採点の内容について疑問や、問題の内容にわからないところがあったら、塾に持っていきよう。

答案に採点の内容について疑問や、問題についてわからないことがあったら、問題、答案を持って塾の先生に質問しましょう。

問題に疑問点があるときは、  
すぐに質問しよう。





# 答案の正しい書き方

## どの教科にも共通する注意点

### ▽ “一問一答” の原則

設問（問いのこと）に指示がない限り、問題1問についての答えは一つです。  
答えが複数になるときには、設問の中にならず指示があります。

- 「……………にあてはまるものは何ですか。下から選び、記号で答えなさい。」  
⇒指示がないので、かならず答えは一つです。
- 「……………にあてはまるものは何ですか。下から選び、二つ答えなさい。」  
⇒答えは二つです。
- 「……………にあてはまるものをすべて選び、記号で答えなさい。」  
⇒答えがいくつあるかは決まっています。

### ■別解とルビ

解答らんには、答えを一つ書いてください。別解（別の答え）がある場合も自信のある答えを一つ書いてください。また、漢字にルビ（読みがな）はつけないでください。解答につけた別解やルビが正しくても×になりますので、注意してください。

六角形	ろ角形	六角形 <sup>かくけい</sup>	六（ろ）角形	六角形（正六角形）
○	○	×	×	×
てんさい	甜菜	ビート	甜菜（ビート）	てんさい（ビート）
○	○	○	×	×
聖徳太子	しょうとくたいし	厩戸皇子	聖徳太子（厩戸皇子）	
○	○	○	×	

▽設問の“指示”に注意しよう

答えを書く場合、設問をよく読んで、その設問の指示通りに書きましょう。

●(1) 番号で答える場合

「……下から選び、番号で答えなさい」

設問の選択肢の番号が算用数字なら、答えも算用数字で書きましょう。

4	④	(4)	四
○	○	○	×

●(2) 記号で答える場合

「……下から選び、記号で答えなさい」

設問の選択肢の記号がカタカナなら、答えもカタカナで書きましょう。

ウ	㊦	(ウ)	う
○	○	○	×

「……下から選び、記号で答えなさい」

設問の選択肢の記号がアルファベットの小文字なら、同じように小文字で書きましょう。

d	a	A	エイ
○	○	×	×

●(3) カタカナで答える場合

「……砂岩の地層の中から(図1)の化石が見つかりました。

この化石の名前をカタカナで答えなさい」

アンモナイト	アンモンガイ	あんも「がいと
○	○	×



図1

●(4) ひらがなで答える場合

「……(図2)は、鹿児島で最も多く生産されているものです。

この農作物の名をひらがなで答えなさい」

さつまいも	かんしょ	サツマイモ
○	○	×



図2

●(5) 漢字で答える場合

「……1年の間で同じ作物を2回つくることを何と言いますか。漢字で答えなさい」

二期作	2期作	二期さく	ニキサク	ニ毛作
○	×	×	×	×

●(6) 算用数字で答える場合

「……沖縄が日本へ返されたのは何年ですか。算用数字で答えなさい」

1972年	一九七二年	千九百七十二年
○	×	×

## ■くんで、不順可の意味

「くんで」「不順可」「くんで不順可」は、週テスト会場で配布される解答や週報の解答解説のらんに書いてあります。

### ●くんで

答えが「くんで」の場合は、(1)と(2)の両方とも正しくないと×になります。

(1)	(2)
ウ	オ
○	

(1)	(2)
ウ	イ
×	

### ●不順可

答えが「不順可」の場合は、(1)と(2)の答えの順序は入れかわっていてもかまいません。

(1)	(2)
ア	エ
○	○

(1)	(2)
エ	ア
○	○

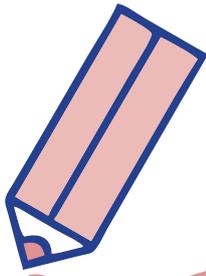
### ●くんで不順可

答えが「くんで不順可」の場合は、(1)と(2)の両方とも正しくないと×になります。ただし、答えの順序は入れかわっていてもかまいません。

(1)	(2)
ウ	エ
○	

(1)	(2)
エ	ウ
○	

(1)	(2)
ウ	オ
×	



# 答案の正しい書き方

## 教科ごとの注意点・算数

### ■数字について

答えは、指示がない限り算用数字（1, 2, 3……）を用いて答えてください。  
漢数字（一, 二, 三……）で答えると×になります。

【注意】「正三角形」・「四角柱」などの用語を答えるときは、漢数字で書いてください。

### ■分数で答えるときは…

約分を学習したあとは、かならず約分をして答えてください。既約分数（もうこれ以上約分できない分数）で答えていないものは×になります。また、設問に指示がないときは、分数を等しい小数で表してあっても○になります。

$$\frac{1}{2}$$

○

$$1.5$$

○

(小数)

$$\frac{3}{2}$$

○

(仮分数)

$$2\text{分の}3$$

×

### ■単位について

テストの解答らんには、原則として、どの問題にも単位が印刷してあります。設問に指示がないかぎり、数字だけを解答らんを書いてください。単位をつけて答えると×になります。かならず、設問の中、または解答らんに印刷されている単位にあわせて答えてください。

- 「……の長さは何mですか。」

$$6 \text{ m}$$

○

$$6 \text{ m m}$$

×

$$600 \text{ cm}$$

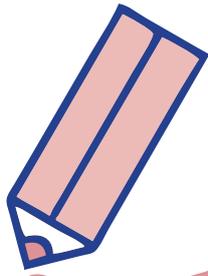
×

### ■解き方や式を書くように指示のある問題について

原則として、解き方や式のらんに記入していない場合は、答えが合っても不正解とします。

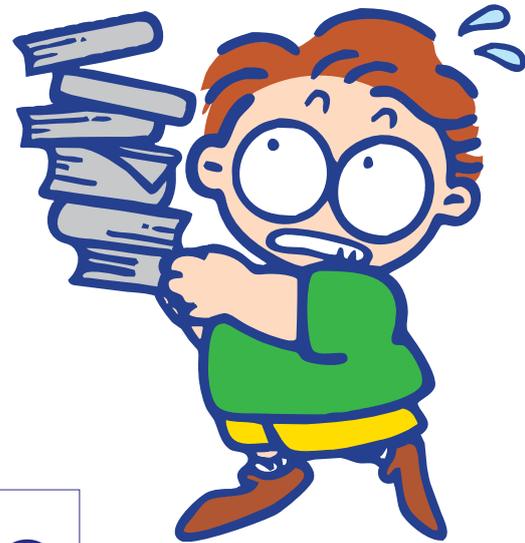
### ■式について

設問に指示がないかぎり、解答らんに式は書かないでください。



# 答案の正しい書き方

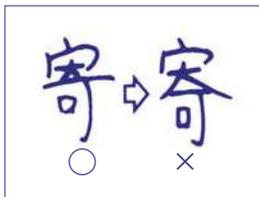
## 教科ごとの注意点・国語



### ▽〈漢字の書き取りについて〉

#### ■乱雑な字は×になります。

1字1字ていねいに楷書かいしょで書いてください。  
乱雑ななぐり書きの字を書いていると、これだけで×になります。字は、うまいへたではなく、ていねいに書くことが大切です。



字体・字形の悪い例



ハネル・トメル・ハラウの例



字体・字形の悪い例

#### ■字形・字体をそろえて書きましょう。

#### ■ハネルところ、トメルところ、ハラウところに注意しましょう。

ハネル・トメル・ハラウの基準きじゆんは、字体によってまちまちな点がありますが、学校で使う教科書の字体（教科書体）を基準として採点します。ハネルべきところをトメたり、トメルべきところをハラったりすると×になります。

### ▽〈記述答案の書き方〉

#### ■「書きぬき」ってなに？

「……文中から書きぬきなさい」「……文中からぬき出しなさい」「……文中の言葉をあてはめなさい」のような問い方の場合、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」そして、句読点（、）（。）や、かぎカッコ（「」）も、特に指示されていないかぎり、文中にあるまま書き写さなくてはなりません。もちろん、句読点、かぎカッコは1字分として書きます。漢字にふりがなをつけたまま解答してもいけません。

〔例〕文中「そのうち、イルカは、去っていきました。……」で、一線部をぬき出す場合。

○ 

イ	ル	カ	は、
---	---	---	----

× 

い	る	か	は、
---	---	---	----

× 

イ	ル	カ	は	去
---	---	---	---	---

### ■「文の書きぬき」と「部分の書きぬき」のちがいは？

「文」というのは、終わりの句点（。）までをいいます。ですから、「……もっともふさわしい一文を書きぬきなさい」という設問では、文の頭から文の終わりの句点までを、そのまま書き写します。また、「……もっともふさわしい部分を文中から書きぬきなさい」のように、部分を書きぬく場合は、1つの文の途中を意味する場合と、文章全体の中のあるひとまとまりの長い部分を意味する場合があります。どちらも設問内容とちがった余分なところまで書く×になりますので、注意しましょう。また、次の場合は、要注意です。

〔例〕文中「……そのうち、イルカは、去っていきました。……」

●「……その部分をさがし、そのまま書きぬきなさい」という設問で、一線部をぬき出す場合。

○ 

イルカは、去っていきました。
----------------

 × 

イルカは、去っていきました。
----------------

以上のように部分を問われている場合、その答えにあたる部分の最後に「、」や「。」があっても、とくに指示がない限り、書いてはいけません。

### ■「文のはじまりと終わり」と「部分のはじまりと終わり」をぬき出すには？

「文のはじまりと終わり」の場合は、文末の句点（。）までが「文」なので、かならず「。」まで書きます。しかし、「部分のはじまりと終わり」は特に指示がないかぎり、その答えにあたる部分の最後に「、」や「。」があっても、書いてはいけません。

〔例1〕文中「……おすことができません。そのうち、イルカは、去っていきました。そこで、……」

●「……一文のはじまりと終わりの5字で答えなさい」という設問で、一線部が答えとなる場合。

○ 

そのうち、	～	きました。
-------	---	-------

× 

そのうち、	～	いきました
-------	---	-------

〔例2〕文中「……おすことができません。そのうち、イルカは、去っていきました。そこで、……」

●「……部分のはじまりと終わりの5字で答えなさい」という設問で、一線部が答えとなる場合。

○ 

イルカは、	～	いきました
-------	---	-------

× 

イルカは、	～	きました。
-------	---	-------

## ■「文中のことばを使って答えなさい」は、どうしよう？

「書きぬき」とはちがいますので、一字一句、そのまま書き写す必要はありません。ただし、本文中にふさわしいことばがあるのに、そのことばをいいかえたり、漢字をひらがな、ひらがなを漢字に書きかえたりすると×になる場合があります。また、このような記述問題では指示語（こそあどことば）を使うと答えの内容があいまいになるので、できるだけ指示語は使わないようにします。

## ■「<sup>じすうせいげん</sup>字数制限」があったら……

「……10字で書きぬきなさい」「……10字で答えなさい」の場合、10字ピッタリで答えます。もちろん、指示がなければ、句読点も1字分として数えます。ただし、変なところに読点（、）を入れて字数をかせいでも、必要のないところであれば減点や×にもなりますから注意しましょう。

「……文中のことばを使って、10字以内で答えなさい」の場合、10字をこえてはいけません。例外もありますが、制限字数に近い表現（8割以上）になるよう心がけましょう。

## ■主語・述語・修飾語の問題

- 「……私は、なぜかすなおに笑えなかった」

〔問1〕主語を書きなさい。

私 は	私	わたしは	私は、
○	×	×	×

〔問2〕笑えなかったのはだれですか。

私	私 は	わたし	わたしは
○	×	×	×

〔問3〕「なぜか」はどのことばにかかりますか。（どのことばを修飾しますか）

笑えなかった	すなおに笑えなかった	笑えなかった。
○	×	×

主語・述語・修飾語は、文節で答えることを原則とします。〔問1〕は、主語を質問しているので「私は」の「は」まで書きます。「私」だけだと×になります。〔問2〕は、「だれですか」と質問していますから、そのものにあたる「私」が正解となります。〔問3〕は、かかることばそのもので答えます。文節で答えるので、「、」「。」はつけないこと。〔問1〕～〔問3〕とも「ぬき書き」という条件が指示されていませんが、問題文の中から漢字は漢字で、ひらがなはひらがなで正しく書きとるようにしましょう。

### ■解答用紙のマスの使い方

「……を5字以内で答えなさい」という設問のとき、解答用紙には最初のマスから書き始めてください。最初のマスをあけて書くと×になります。30字や50字などの長い記述も同じように最初のマスから書きます。作文でないかぎり、最初の1マスをあける必要はありません。また、作文でないかぎり、マスの最後に文字と「。」を一緒に入れないようにしましょう。

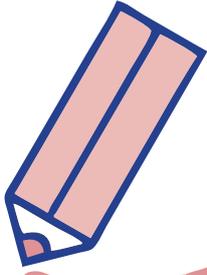
去ッ ㊦ 〇 から。    〇 〇 去ッ ㊦ × から。    去ッ ㊦。 × から。

### ■行や段落の番号について

「……行の番号で答えなさい」「……段落の番号で答えなさい」のような設問で、「算用数字で」「漢数字で」などの指示がない場合、答えは本文中にある行や段落の番号に合わせて書いてください。



せっかく正しい  
答えを書いたのに、  
答え方のミスで×なんて  
トホホ…だよ



# 答案の正しい書き方

## 教科ごとの注意点・理科

### ■数字について

数字は、指示がないかぎり、算用数字で答えてください。

### ■単位について

答えに単位 (m、cm、g、m<sup>2</sup>、m<sup>3</sup>など) がつくときは、あらかじめ解答らんに印刷されている単位と二重にならないように注意しましょう。また、解答らんに単位が印刷されていないときは、単位を書かないと×になります。

### ■小数で答える習慣をつけよう！

重さ・長さなどに関する計算で、単位のついた量を答える場合は、かならず小数にしてください。分数で答えると×になりますので注意しましょう。

理科は、小数で表す習慣があるので、早くなれて身につけましょう。

- 「……何アンペアの電流が流れていますか。数字で答えなさい。」

0.5 A

○

$\frac{1}{2}$  A

×

500 mA

×

- 「……ばねののびは何cmですか。数字で答えなさい。」

2.4 cm

○

$2\frac{2}{5}$  cm

×

$\frac{12}{5}$  cm

×



### ■ことばで答えるときは……

用語をことばで答える場合、設問に指示がないかぎり、漢字、ひらがな、カタカナのどれで表現しても○になります。また、「予習シリーズ」にある正しい理科用語を覚えましょう。

- 「……<sup>せっかいせき</sup>石灰石に塩酸を加えたとき、発生する気体は何ですか。ことばで答えなさい。」

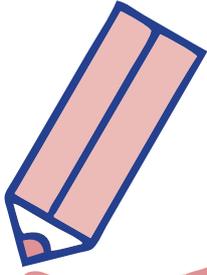
二酸化炭素	二酸かたんそ	ニサンカタソ	にさんかたんそ
○	○	○	○
炭素ガス	2酸化炭素	二酸化炭素ガス	CO <sub>2</sub>
×	×	×	×

【注意】 名まえをことばで答えるとき、CO<sub>2</sub>のような化学記号で答えると×になります。正しい名まえをことばで答えましょう。

### ■グラフや作図は正確にかこう

ことばで答えるだけでなく、グラフやかんたんな図をかいたり、図をぬりつぶしたりする問題が出される場合もあります。答えとしてかかれたグラフや図が雑でわかりにくいと、×になることがあります。グラフや図は、日ごろからていねいにかく習慣を身につけましょう。





# 答案の正しい書き方

## 教科ごとの注意点・社会

### ■数字について

西暦年代や、割合などの統計<sup>とうけい</sup>の値を答えるときは、設問に指示がないかぎり、算用数字で答えてください。

### ■日本の地名について

日本国内の地名は「予習シリーズ」「考える社会科地図」の表記に合わせて答えないと×になります。漢字で答える指示がない場合でも、できるだけ漢字で答えるようにしましょう。また、都道府県、市町村、川、山脈<sup>みやく</sup>などの名まえを答えるとき、これらがあらかじめ解答らんに印刷されていない場合は、正しく最後まで書かないと×になりますので注意しましょう。

千葉県

○

千ば県

○

ちばけん

○

千葉

×

ちば

×

利根川

○

とね川

○

とね

×

利根川

○

とね川

○

高知呼野

○

高知ハヤ

○

高知

×

高知平野

○

こうち平野

○



地名などは  
正しい漢字で書こう!

地名や人名は  
学習したとおりに  
書けばいいんだな!



### ■世界の地名について

外国の国名や地名は、「予習シリーズ」や「考える社会科地図」の表記に合わせて答えないと×になります。

アメリカ合衆国	アメリカ	アメリカがらしゃうこく	米 国	あめりか
◎	○	○	×	×

### ■外国人の人物名について

外国人の人物名を答えるときは「予習シリーズ」の表記に合わせて答えないと×になります。

リンカン	リンカーン	アブラハム・リンカーン	りんがーん
◎	◎	○	×

### ■日本人の人物名について

日本人の人物名を答えるときは、<sup>せいめい</sup>姓名をきちんと答えないと×になります。

福 沢 諭 吉	福 沢 ゆ き ち	福 沢	諭 吉
◎	○	×	×

### ■用語について

外来語はカタカナで答えるようにしましょう。外来語などの用語を答えるときは、「予習シリーズ」や「考える社会科地図」でカタカナやアルファベットで表記されている部分は、「予習シリーズ」「考える社会科地図」の表記に合わせて答えないと×になります。

消 雪 パイプ	消 せ つ パイプ	し ょ う せ つ パイプ
◎	○	○
し ょ う せ つ ほ い ぷ	消 雪 ほ い ぷ	
×	×	